

Animal Science Journal のための論文投稿の手引き

Animal Science Journal のための論文投稿の手引きは、原稿執筆の際の指針として Animal Science Journal のための投稿規程を補うためのものである。

1. AIMS AND SCOPE

Animal Science Journal (ASJ) に掲載する論文は、育種・遺伝、繁殖・生殖工学、栄養・飼料、生理・形態、畜産物利用、管理・行動、衛生（微生物、糞尿）、畜産経営などの分野に関連し、英文で書かれた原著論文および総説とする。原著論文は一般論文と速報の2種類に区分して掲載する。総説は編集委員会が依頼したものを主とするが、それ以外の投稿も受け付ける。論文は会員、非会員を問わず投稿することができる。

2. EDITORIAL REVIEW AND ACCEPTANCE

論文の受理は、畜産学上価値のある内容であるかに基づき判断される。原則として論文は2人の審査員と編集委員によって審査される。論文の採否は編集委員会が決定する。

論文はその分野に特に精通していない読者にもわかるように書く。論文が学術的な観点から ASJ に受理可能であると判断された場合でも、編集委員と出版社は読者に誤解を与えると思われる箇所や、同じ内容の繰り返しなどについて修正することがある。もし修正すべき箇所があまりに多い場合には、論文は要修正として著者に戻される。

3. SUBMISSION OF MANUSCRIPTS

原稿はすべて ScholarOne Manuscripts のオンライン投稿査読システムで受け付ける。

URL : <http://mc.manuscriptcentral.com/asj>

著者との連絡は e-mail を使用して行われるため、著者は必ず e-mail アドレスを記入する。投稿の際、カバーレターと論文本体（それぞれ Word か rtf 形式で保存したもの）のファイルは分け、カバーレターは審査用原稿に含めないようにする。

ASJ に投稿するすべての論文はこの手引きに沿って作成されたものでなくてはならず、沿っていないものは返却もしくは受理後の出版が遅れる場合がある。

- ・ダブルスペースで作成する。
- ・A4 サイズの用紙を縦方向に使用し、上下左右とも 30mm 以上の余白を設ける。
- ・連続したページ番号を右上に記入する。
- ・行番号はページごとに付け、左側の余白に記入する。
- ・同一段落内の行の最後には改行を入れない。
- ・ハイフンは内容を理解する上で必要な場合に限り用いることとし、自動ハイフネーション機能は使用しない。
- ・キーボードにない記号を用いる場合には、説明を加える。
- ・1(数字)のかわりに l(英字)を、0(数字)のかわりに O(英大文字)を、 β (ギリシャ文字)のかわりに B(ドイツ語)を用いない。
- ・表中、各数値データの間はスペースではなく、タブを用いて間隔をあける。Excel を利用する場合には1つのデータを1つのセルに入力する（セル内で改行しない）。
- ・タイトルページ（表題、著者名、所属機関名とその所在地、略表題を含む）を第1ページとし、要約およびキーワードを第2ページとする。第3ページより緒言以下の本文を作成する。
- ・図は、1つについて1つのファイルを作成し、ファイル名で図の番号がわかるようにする。投稿時は、その後の審査過程でのファイルのやりとりが容易になるよう、JPEG あるいは BMP 形式で保存した低解像度のファイルを用いる。その際、最後に ScholarOne Manuscripts によって作られる PDF ファイルで図の鮮明度を確認する。論文が受理された後は、EPS あるいは TIFF 形式で保存した高解像度（300 dpi 以上）のファイルをあらためて提出する。解像度の低いファイルは最終版の作成に使用できない。

さらに注意すべき点については ScholarOne Manuscripts サイトを参照のこと。

3-1. Covering Letter

カバーレターには、論文の内容が他に投稿中もしくは他で出版されたものではないこと、すべての著者が論文の内容に明らかに貢献していること、ならびにその内容に合意していることを明記する。

著者は、研究費の助成を受けた場合の助成先を、また、利益相反を生じうる他者がいる場合はその旨を明記する。

もし他のソースから図表を引用する場合は、その著作権を有する者（通常出版社）から使用許諾を得ていることをカバーレターに明記する。

3-2. Author Material Archive Policy

論文が受理された後に、投稿時に送付した原稿や図表などの返却を求める場合は、その旨を編集事務局に申し出る。特に返却の申し出がない場合、出版社は論文出版後2ヵ月ですべてを処分する。

3-3. Rapid Communications

速報を投稿する場合には投稿理由書を添付する。速報は図、表などを含めて刷り上がり2ページ以内とする。論文を速報として出版する場合の掲載料は一般論文の料金と異なる。

4. ETHICAL CONSIDERATIONS

著者はその研究がそれぞれの機関のガイドラインに従って行われたものであり、ヘルシンキ宣言の規程に準拠していることを明記しなくてはならない。ヒトや動物を用いた研究が倫理に反していると判断した場合には掲載を拒否することがある。

動物を使用した実験については、動物倫理に十分な配慮が払われ、動物実験のガイドラインにしたがって行ったことを明記しなくてはならない。

5. COPYRIGHT, LICENSING, ONLINE OPEN

出版に際し ASJ に論文を掲載する著者(全員)は Copyright に関する書類に署名しなければならない。責任著者へ Author Services についての案内メールが送信されるので、Author Services へログインし、Wiley Author Licensing Service (WALS)にて Copyright Form を提出する。

For authors signing the copyright transfer agreement

OnlineOpen を選択しない著者は、Copyright Transfer Agreement に署名し提出する。

Copyright に関する質問は下記を参照のこと：

http://authorservices.wiley.com/bauthor/faqs_copyright.asp

For authors choosing OnlineOpen

OnlineOpen を選択した著者は、下記の Creative Commons License Open Access Agreements (OAA) から Form を選択して署名し提出する。

- ・ Creative Commons Attribution License OAA
- ・ Creative Commons Attribution Non - Commercial License OAA
- ・ Creative Commons Attribution Non - Commercial - NoDerivs License OAA

Copyright に関する質問は下記を参照のこと：

http://authorservices.wiley.com/bauthor/faqs_copyright.asp

[http://www.wileyopenaccess.com/details/content/12f25db4c87/Copyright --- License.html](http://www.wileyopenaccess.com/details/content/12f25db4c87/Copyright---License.html)

6. STYLE OF THE MANUSCRIPT

Spelling : 英文はアメリカ英語（使用辞書：Merriam-Webster's Collegiate Dictionary 最新版）で作成する。

Units : 単位は原則として SI あるいは SI 組立単位を用いる。

(例) h (時間), min (分), s (秒), °C (摂氏), mmHg, Hz, mL, mol/L, *g* (重力), 00.00 hour (時刻)

数値と単位との間は、%と°Cを除き、スペースをとる。(例) 7 min, 10 mmol/L, 25%, 37°C

Abbreviations : 略語はその使用により読者が読みやすくなる場合に限り使用する。最初に使う箇所では正式名称を記し、()内に略語を示す。

Trade names : 化学物質名は一般名を用い、商品名は用いない。試薬名もブランド名ではなく一般名を用いる。商標登録された試薬を用いた場合は、その試薬の一般名を記載し、括弧内に商標登録名、メーカー名、その所在地を記載する。

Scientific names : タイトル、要旨、本文中で最初に使われる時は一般名とともに括弧内に科学的な固有種名(属、種、固有種名)を記載する。よく知られた種についてはタイトルから科学的な固有種名を省略しても良い。もし一般的な英語名が存在しない場合は、科学的な固有種名のみを用いて記載する。ラテン語系副詞および慣用語、学名(動物、植物、微生物の種名に限る)、ならびに *P* 値は、*in vivo*, *in vitro*, *Bos taurus*, $P < 0.05$ のようにイタリックで表記する。

7. PARTS OF THE MANUSCRIPT

論文は以下の順からなる。(1)タイトルページ、(2)要旨とキーワード、(3)本文、(4)謝辞、(5)引用文献、(6)付録、(7)図の説明、(8)表(各表はタイトルや脚注も含む)、(9)図、(10)和文抄録(日本人著者の場合のみ)。本文中では脚注は使用せず、必要な場合は本文中に括弧を用いて記載する。

7-1. Title page

タイトルページには次の事項を含める。(1)論文の表題、(2)すべての著者名(フルネームで)、(3)研究が行われた所属機関、(4)その住所、(5)責任著者の電話番号とFAX番号。一部の著者の現在の所属が、研究が行われた当時と異なる場合はその旨脚注に記載する。

表題は主要なキーワードを含み、論文の内容を端的に表すようにする。表題には略語を用いない。40文字以内の略表題も記載する。

7-2. Abstract and Key words

要約は、目的、方法、結果、結論の要点を簡潔明瞭に表現し、200語以内とする。要旨の下には5個以内のキーワードを記載する。キーワードは、論文の内容や研究分野を示す言葉を吟味して選択し、余りにも一般的なものの使用は避け、アルファベット順に並べる。(例)CaはCalcium metabolism, Calcium intake など、ProteinはProtein synthesis, Milk protein などとする。

7-3. Text

論文には以下の小見出し(INTRODUCTION, MATERIALS AND METHODS, RESULTS, DISCUSSION)をつける。

7-4. Acknowledgments

産業界との連携、提携、研究助成金の授受、研究者ならびに研究機関の援助を受けた場合は謝辞に記載する。個人的な謝意や審査員に対する謝意は記載しない。

7-5. References

引用できる文献は、単行本および原則として審査員制度を採用している学術雑誌に掲載された英文論文とする。ただし、編集委員会が認める場合には、Webを介して閲覧が可能であり、かつ本文が英語以外でも抄録および図表が英文の論文、博士論文、英文による電子資料および特許を含めることができる。

1) 本文中の引用箇所には著者名と年号を、または著者名の後に年号を括弧付きで示す(ハーバードシステム)。本文中に文献を引用する場合、2人の連名のときは必ず両者の姓を“and”をはさんで併記する。ただし、括弧内に記載する場合は“&”を用いる。また、3人以上の連名のときは筆頭著者以外を“*et al.*”と略記する。同じ括弧の中で複数の引用著者がある場合は、年号の古い順、また同一年の場合は著者名のアルファベット順に書く。

(例) …(Nalbandov 1963). …(Smith *et al.* 1950; Drori & Loosli 1958a).

Nalbandov (1963)…, Drori and Loosli (1958b), Smith *et al.* (1983)…

2) 未発表データを引用する場合は、本文中では著者名、年号、unpublished data を記載し、文献リストには掲載しない。(例) …(Smith A, 2000, unpublished data)。本文、表、図の中で引用した文献すべてを文献リストに掲載する。

3) 文献リストの作成には EndNote や Reference Manager の利用が推奨される。

文献リストの体裁はそれぞれ以下で検索できる。

EndNote : <http://www.endnote.com/support/enstyles.asp>

Reference Manager : <http://www.refman.com/support/rmstyles.asp>

4) 印刷中の論文を引用する場合はその電子ファイルを原稿に添付する。

5) 引用した文献のリストは、次の手順により作成する。

a) 筆頭著者の姓をアルファベット順に並べる。

b) 同一筆頭著者による複数の文献がある場合は、単著論文をはじめにおき、次に複数著者文献を第2著者、第3著者のアルファベット順に並べる。さらに同一複数著者の場合は発表年順にする。

c) 同一筆頭著者による単著、2名あるいは3名以上の共著にそれぞれ同一発表年の文献がある場合には、本文中に引用した順にアルファベットを付ける。

d) 著者が7名以上の場合、6名を記載し7名以降は *et al.* とする。

e) 引用文献の記載例

○雑誌

雑誌に掲載された文献の記載は、著者名（全員）、発行年、表題、雑誌名（略さない）、巻、開始—最終ページの順とする。

(例) Drori D, Loosli JK. 1959. Influence of fistulation on the digestibility of feeds by steers. *Journal of Animal Science* 18, 206–210.

○雑誌（巻号未決定論文/Early View 公開論文）

オンライン公開済みだが巻号未決定の論文を引用する場合はデジタルオブジェクト識別子 (DOI) を記入する。

(例) Abe H, Takeuchi H. 2012. Characterization of the intronic VNTR polymorphisms found in a paralog of chicken serotonin transporter gene. *Animal Science Journal*. 2012, doi: 10.1111/asj.12011

○単行本

単行本の記載は、著者名、発行年、書名、版、発行所、発行地の順序とする。分担執筆の場合は編集または監修者名を加える。

(例) Nalbandov AV. 1963. *Advances in Neuroendocrinology* 2nd edn. University of Illinois Press, Urbana, IL.

○単行本中の章

単行本中の章の記載は、著者名、発行年、章の題名、書名、版、引用ページ、発行所、発行地の順序とする。分担執筆の場合は編集または監修者名を加える。

(例) Folley SJ, Malpress FH. 1948. Hormonal control of mammary growth. In: Pincuss G, Thimann KV (eds), *The Hormones* Vol. 1, pp. 695–743. Academic Press, New York.

○博士論文

博士論文の記載は、著者名、発行年、表題、Ph. D. Thesis, 大学名、国名の順とする。

(例) Suzuki, Y. 2016. Study on the physiological functions of two endocrine factors derived from the liver, ANGPTL8 and Chemerin, in Ruminants. Ph. D. Thesis, Tohoku University, Japan.

○電子資料

電子資料の記載は、発信機関名、発信年、ホームページの名前、機関名、所在地、引用年月日、URL の順序とする。

(例) National Center for Biotechnology Information (NCBI). 1999. Nucleotide–nucleotide BLAST (blastn) [homepage on the Internet]. National Center for Biotechnology Information, Bethesda, MD; [cited 13 December 2002]. Available from URL: <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/blast/>

○特許

特許の記載は、発明者名、発明出願年、発明の名称、特許番号（得られていない場合

は、公開番号、または出願番号でも可)、特許取得年月日の順序とする。

(例) Tomogane H. 2002. Improved method for meat quality. Japanese Patent No. 3433212, granted 19 January 2002.

7-6. Tables

表の説明は、同一のシートに本文中の記述と重複しないように記述する。表にはそれぞれアラビア文字で通し番号を付ける。表のタイトル、説明は本文を参照しなくても理解できるように記述する。列と列の間は縦線で区切らない。列または行の見出しは簡潔に表現し、括弧内に単位を記載する。すべての略語の説明は脚注に記載する。脚注で用いる記号の順は \dagger , \ddagger , \S , \parallel とし、 $*$, $**$, $***$ は P 値を示す時のみに使用する。統計的誤差が標準偏差 (SD) であるか標準誤差 (SEM) であるかどうかは、行または列の見出しにわかるように記載する。

7-7. Figures

線画や写真はすべて図として扱う。図は通し番号の順に本文中で引用する。図の大きさは 80.5 mm, 112 mm, 168 mm のいずれかの幅に収まるように作成する。写真の縮尺はスケールバーを用いて図中に記載する。

線画は明瞭かつ白黒で、コンピューターソフトを用いて作成する。文字は図中に挿入し、本文に用いられる文字の大きさを超えないものとする。

7-8. Figure legends

図の説明は、本文を参照しなくても理解できるよう、独立したファイルに番号順に記述する。記号、略語および単位についてもわかるように記載する。

7-9. 和文抄録

和文抄録の記載は表題、著者名、所属機関名とその所在地、抄文 (600 字程度) の順とする。和文抄録は日本畜産学会報に別掲され、ASJ には掲載しない。ただし、著者全員が日本語を解さないなど、著者による和文抄録の作成が不可能な場合は和文抄録を省略することができる。別掲される和文抄録の掲載費用は日本畜産学会の負担とする。

8. SUPPORTING INFORMATION

SUPPORTING INFORMATION (補足情報) の利用は、重要であるが補助的な情報を提示する上で有効な方法である。補足情報として、追加の表、データ、図、動画ファイル、音声ファイル、立体構造、その他補足的なマルチメディア・ファイルを添付できる。

補足情報は説明文を記載した上で、本文中に引用されていなければならない。投稿論文の一部として同様に審査に付される。

受理された論文が公開される際、補足情報については校正過程を経ず著者が作成したものがそのままアップロードされる。

- ・補足情報の番号は下記のようにつける。

Fig. S1, Fig. S2, . . . , Table S1, Table S2, . . . , Doc. S1, Doc S2

- ・補足情報の図表のタイトルおよび説明文は、それぞれの図表ファイルに含める。
- ・それぞれのファイルのサイズは 5MB 以下にする (動画についてはそれを越えても可)。
- ・著者自身のウェブサイトを補足情報としては使用できない。

補足情報の数に制限はないが、多すぎる場合は編集委員会が削減を求めることがある。

補足情報の条件についての詳細は、<http://authorservices.wiley.com/bauthor/suppinfo.asp> を参照のこと。

9. WILEY AUTHOR SERVICES

Author Service により、著者は受理後の論文が出版されるまでの過程を追跡することができる。また、著者には、出版に至る過程で論文が現在どのような状況にあるかについての e-mail が自動的に送付される。このサービスに関する更なる情報や FAQ、論文作成や投稿の手引きについては、<http://authorservices.wiley.com/bauthor> を参照のこと。

10. PROOFS

責任著者は出版過程での連絡のために e-mail アドレスを登録する必要がある。

校正段階で不明瞭な箇所がある場合は、e-mail にて Word ファイルが送られるので、確認して出版社に返信する。メールに記載されている修正方法とファイルの返信方法に従う。

著者校正用の原稿 (PDF 形式) をダウンロード可能な URL は、Wiley 社から責任著者宛に e-mail により通知される。著者による校正は基本的に 1 回 (PDF) とし、特に重要と思われる箇所以外の校正は行わない。校正した原稿は、指定された期日までに返送しなければならない。

11. PAGE CHARGES

1) 会員からの投稿 (筆頭著者または責任著者が会員である場合)

(1) 一般論文: 論文 1 ページ 6,000 円。(7 頁の論文なら、 $6,000 \times 7 = 42,000$ 円)

(2) 速報: 2 ページまで: 30,000 円。1 ページ増すごとに 12,000 円を追加。

(3) 総説 (投稿の場合): 10 ページまで: 20,000 円。1 ページ増すごとに 12,000 円を追加。

(超過ページ料金は、編集委員会から依頼の場合も同様に追加)

2) 非会員からの投稿 (筆頭著者、責任著者ともに非会員である場合)

(1) 一般論文: 論文 1 ページ 12,000 円。(7 頁の論文なら、 $12,000 \times 7 = 84,000$ 円)

(2) 速報: 2 ページまで: 40,000 円。1 ページ増すごとに 12,000 円を追加。

(3) 総説 (投稿の場合): 10 ページまで: 30,000 円。1 ページ増すごとに 12,000 円を追加。

(超過ページ料金は、編集委員会から依頼の場合も同様に追加)

上記の 1) 2) の料金には消費税がかかる。

12. OFFPRINTS

責任著者には原稿の PDF ファイルが無料で配布される。この特典を受けるためには、Wiley の Author Service に登録すること。

カラーの別刷を希望する場合は、<http://offprint.cosprinters.com/> から注文する。

モノクロの別刷を希望する場合、日本畜産学会事務局に注文する。料金は以下の通りとなる。なお、注文可能な最低数は 50 部とする。

1) モノクロオンデマンド印刷 (ドキュテック) 価格表 (送料別)

(単位: 円)

部数/ページ数	1-4 pp	5-8 pp	9-12 pp	13-16 pp	17-20 pp
50 部	4,000	4,000	6,000	8,000	10,000
100 部	4,000	8,000	12,000	16,000	20,000
150 部	5,500	11,000	15,000	20,000	25,000
200 部	7,000	14,000	20,000	26,000	32,000
250 部	8,500	17,000	25,000	32,000	40,000

中綴じ仕様、用紙は上質キク 48.5kg を使用。

表紙を希望する場合、表紙は 1 ページとカウントする。消費税がかかる。

13. COLOR FIGURES

冊子体が廃止になったため、カラー印刷料金は 2013 年 1 月 1 日より不要。

14. EARLY VIEW

Animal Science Journal は Early View を導入している。Early View には、巻号が決定する前に著者校正の終了した最終版の論文が直ちに掲載されたものである。したがって、公開後は修正することができない。Early view に掲載された論文には、Digital Object Identifier (DOI) が割り当てられており、それを記載することにより引用することが可能である。DOI は最終的に巻・号やページが決定したあとも有効である。DOI についての詳細は <http://www.doi.org/faq.html> を参照のこと。

15. ONLINE OPEN

著者が自分の論文を ASJ の非購読者にも閲覧可能にすることを希望する場合や、研究費支給団体

が論文のアーカイブ化を条件としている場合には OnlineOpen のオプションを利用することができる。OnlineOpen を利用する場合、著者、著者への研究費支給団体もしくは著者の所属機関がその費用を負担する必要がある。これにより、ASJ の非購読者が Wiley Online Library で閲覧することや研究費支給団体が指定するサイトへのアーカイブ化が可能となる。OnlineOpen 利用に関しての条件については下記を参照のこと。

<http://olabout.wiley.com/WileyCDA/Section/id-406241.html>

論文を OnlineOpen にする場合は、下記から入手可能な payment form に記入しなければならない。

<http://onlinelibrary.wiley.com/onlineOpenOrder>

著者は OnlineOpen の希望の有無を論文の受理前の段階で編集事務局に通知する必要はなく、OnlineOpen の希望の有無に関わらず論文の審査は通常通りに行われる。

16. ONLINE GUIDELINES

ASJ に関する更なる情報については、<http://wileyonlinelibrary.com/journal/asj> を、また、投稿や図の作成に関する注意点については、それぞれ、

<http://authorservices.wiley.com/bauthor/journal.asp> と

<http://authorservices.wiley.com/bauthor/illustration.asp> を参照のこと。

1995. 1. 1 制定
1998. 7. 25 改正
1999. 10. 10 改正
2001. 11. 23 改正
2002. 7. 13 改正
2006. 3. 28 改正
2007. 2. 10 改正
2009. 1. 12 改正
2012. 1. 28 改正
2013. 1. 26 改正
2014. 1. 25 改正
2016. 6. 25 改正
2018. 1. 27 改正
2018. 1. 1 施行